

令和3年10月4日
一般財団法人 日本みち研究所

令和3年度 第1回 道路空間高度化研究会を開催しました

令和3年9月16日、令和3年度 第1回 道路空間高度化研究会をオンラインで開催しました。

今回は、交通研究家 エルファディング・ズザンネ氏と FUJII Intercultural 社代表 ヴァンソン藤井由実氏の2名をお招きし、ズザンネ氏には『ポストコロナ都市とは？ -ドイツの体験-』、藤井氏には『新型コロナ危機でさらに進む道路空間の再配分 -モビリティと都市空間の再編成・フランスの事例-』について、話題提供をしていただきました。

ズザンネ氏からは、ドイツにおける新型コロナ流行後のまちや交通の変化や、人の移動による都市部と地方部の格差拡大に触れた一方で、自転車通行帯の整備やオープンカフェの取組み等の柔軟な道路空間の利用が促進したこと。さらに、今後のまちづくりの視点として、気候変動に強い都市、用途の混合と多様化、15分都市などをご紹介いただきました。

藤井氏からは、フランスにおける新型コロナ流行前後の公共交通の利用状況の変化や、国による公共交通への支援策のほか、イダルゴ市長が推進してきた「息が出来るパリ」プランや、パリ市全域を時速30km制限する等の都市空間を再編成やスマートシティ構想などの先進的な事例をご説明いただきました。

話題提供の後には、ズザンネ氏、藤井氏、本研究会委員が、ヨーロッパや日本での新型コロナによるまちや生活環境の変化や、今後の日本の道路再編のあり方等、さらに具体的な内容について活発な議論を展開していただきました。



【御出席の委員】 委員長 石田東生 筑波大学名誉教授・特命教授、日本みち研究所理事長
委員 天野光一 日本大学理工学部特任教授
委員 岸井隆幸 日本大学理工学部特任教授、計量計画研究所理事長
委員 谷口 守 筑波大学システム情報系社会工学域 教授
委員 山本隆司 東京大学法学部教授

【問い合わせ先】 一般財団法人 日本みち研究所 調査部 み あけ 見明 くりやま 栗山

TEL : 03-5621-3115 FAX : 03-5621-3153

HP : <http://www.rirs.or.jp/>